

# 子どもを襲う ネットに潜む ケータイの罠

子どもの携帯電話の所持率が急上昇し、インターネットを使ったサイトで危険な状況が生まれている。無防備な子どもたちに襲いかかる携帯電話の罠はどんなところに潜んでいるのか——。急増する携帯電話のトラブルから子どもたちを守るため、今月はネットに潜むケータイの罠を緊急レポートし、対応策を考える。

**ゲーム、出会い系、小遣い稼ぎ**  
**知らぬは大人だけか？**  
「みんなが持っているから」と子どもにねだられ、安易に携帯電話を買い与えた親たち。そして所持率は急上昇した。しかし、その結果生じた負の側面が一気に噴出し、子どもたちに襲いかかろうとしている。

子どもたちに大人気の携帯版インターネットサービスに「モバゲータウン」というものがある。どんなものか分からなければ子どもに聞いてみるのが早いかもしれない。もし、中学生、高校生の子どもが

いる家庭なら「モバゲータウンを見たことがあるか」と尋ねてみてほしい。ほとんどの子どもが「ある」とか「知っている」と答えるはずだ。  
今や800万人もの会員を獲得し、子どもたちに大人気のモバゲータウン。最近ではテレビCMでも頻繁に宣伝されている。モバゲータウンは、ゲーム、ショッピング、オークション、着うた、ブログ（日記）、友達探しなど何でもでき、すべてが無料。携帯の中の仮想空間が無限に広がっている。

**モバゲータウン**では、専用の通貨が使われている。例えば、友達をモバゲータウンに紹介し、加入させると300G（ゴールド）とか入手できる。子どもたちはその通貨を使い、「アバター」（左ページ画像）に着せ替える服などを購入したりして楽しんでいるのだ。実際にモバゲータウンを開いてみると、「岩手 学生 掲示板」というサイトを見つけた。1日約7000人も閲覧があり、その中には



急増する携帯電話のトラブル。大人の知らない仮想空間が広がり、ネット上には無数の罠が潜む。そして子どもたちは...

「彼氏と別れる方法」芸能人しりとり」というものもあった。さらにモバゲータウンでは、仮想空間で友達になれる機能が人気だ。自身の仮想の分身「アバター」を作成し、アバター同士が会話し仲良くなり、仮想空間だけの友達「モバ友」になる。この機能が出会い系の温床になっているという指摘もある。

それを裏付ける事件が昨年11月15日、青森県八戸市で起きた。事件はホテルで火災が発生、30歳の男が救出されたが、同じ部屋にいた16歳の女子高生は、この30歳の男に殺害されていた。後の警察の捜査により2人は「モバゲータウン」を通じて出会ったことが分かった——ということだった。

事件が後を絶たない。久慈警察署生活安全課の星正了係長によると「昨年1年間の携帯電話がらみの相談件数は県全体で5353件にも上ります。久慈管内では179件ですが、子どもたちが不当請求などでたまされるケースが増え続けています」と警鐘を鳴らし、「悪徳業者から電話があっても個人情報絶対には教えないように」と注意を促している。

## 好奇心旺盛な子どもたち 過激になるプロフ

もう一つ、大人気のインターネットサービスに「プロフ」というものがある。プロフはプロフィールの略。パソコンや携帯電話からネットのページに自分のプロフィールを書き込



上：彼氏との画像をプロフに掲載する女子中学生。あまりにも無防備だ  
下：子どもたちは自分の仮の姿「アバター」を作成し、このアバター同士が仮想空間で友達になる

むというものだ。たったそれだけのサービスだが、子どもに大人気を博し一方で大問題を起している。自分がどんな人間かを表現したい思春期の子どもたちはプロフに、自分の性格や好きなこと、悩みなどを掲載する。しかし、友達しか見ていないと錯覚するのか、自分の実名や学校名、

自宅のおおよその住所や、働いている店の名前までも記載してしまう子どもが後を絶たない。さらに、自分や友達の写真まで無防備に掲載してしまっているのだ。そして、それは他人でも簡単に見ることができ。パソコンでもいい、実際に「プロフ」と入力してみてもいい。中高生の生々しい写真などが続々と登場する。

**プロフ**など子どもにも人気サービスは多くに共通するのは、見られる回数や書き込み数、登録者数の多さでランキングが行われていること。実はプロフには、多く見られると収入が増加する「アフィリエイト」というネット広告の仕組みが組み込まれていることが多い。自己顕示欲も強く、お小遣いも欲しい年ごろだ。注目される上に、広告収入も増えるとなると、子どもたちはよりプロフに過激な画像を掲載し、エスカレートさせていく。

## ネットに潜む・ケータイの罠

### どんどん増えている

#### 子どもが使うネット・携帯ツール

**いじめ・恐喝メール**  
メールで、相手を中傷したり、金銭を要求する。親や教師に知られずに行われるため発覚が困難で陰湿化しやすい。

**なりすましメール**  
特定されることを防ぐために、1人で複数のメールアドレスを取得したり、他人の名前のアドレスを勝手に取得し、いじめや犯罪に使う。

**チェーンメール**  
「5時間以内に10人に転送しないと死ぬ」などと書かれているため、うわさや、いやがらせ画像などが急激に友達や他人の間に広がっていく。

**ブログ・ホームページ**  
自分自身の個人情報や安易に掲載してしまったりそこに他人の悪口や、いやがらせ画像などを掲載し、いじめに使われることがある。

**プロフィールサイト**  
自分のプロフィール掲載専用のためのホームページ。自分の写真や住所、名前などを載せてしまうため、いじめや売春のきっかけにもなっている。

**出会い系サイト**  
メールで、相手を中傷したり、金銭を要求する。親や教師に知られずに行われるため発覚が困難で陰湿化しやすい。

**アフィリエイト**  
ホームページやプロフなどに企業広告を張り、訪問者がそれをたどって広告主のサイトを訪問し商品購入や資料請求・会員登録などをした場合に手数料が支払われる成功報酬型の広告。報酬は100円程度から。